

エコアクション21 環境経営レポート



☎ 379-2161
群馬県前橋市富田町587番地の1（富田事務所）
☎ : 027-263-3414
☎ FAX : 027-263-3424
✉ : gkankyou@abox3.so-net.ne.jp

活動期間：2022年度（2022.04～2023.03）

発行日：2023年05月30日



はじめに

群馬県建設事業協同組合は1973年の設立以来、（一社）群馬県建設業協会の経済活動の分野を担う団体として活動して参りました。

設立当時は協同事業による金融・購買事業を推進し、その後、建設事業の協同受注、道路環境整備事業、業界のOA化に伴うソフト開発、保険の第三者賠償共済制度と事業拡大を行なって参りましたが、現在では主軸を県管理道路の清掃と道路パトロールを主な事業として受注し、道路環境の改善と安全走行の確保の一翼を担っております。

当組合では、地球規模の課題である環境問題に取り組み、環境に優しい企業を目指した取り組みを始め、2012年8月に『エコアクション21』の認証登録を行いました。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私達の取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき今後の環境活動に生かして行きたいと存じます。

群馬県建設事業協同組合
理事長 青柳 剛

目次

計画の策定(Plan)

1	組織の概要	1
2	対象範囲	2
3	環境経営方針	2
4	環境経営目標	3
5	環境経営計画	3

計画の実施(Do)

6	環境経営計画に基づき実施した取組内容	4
---	--------------------	---

取組状況の確認及び評価(Check)

7	環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標及び環境活動計画	5
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	6

全体の評価と見直し(Act)

9	代表者による全体の評価と見直し・指示	7
---	--------------------	---



計画の策定 (Plan)

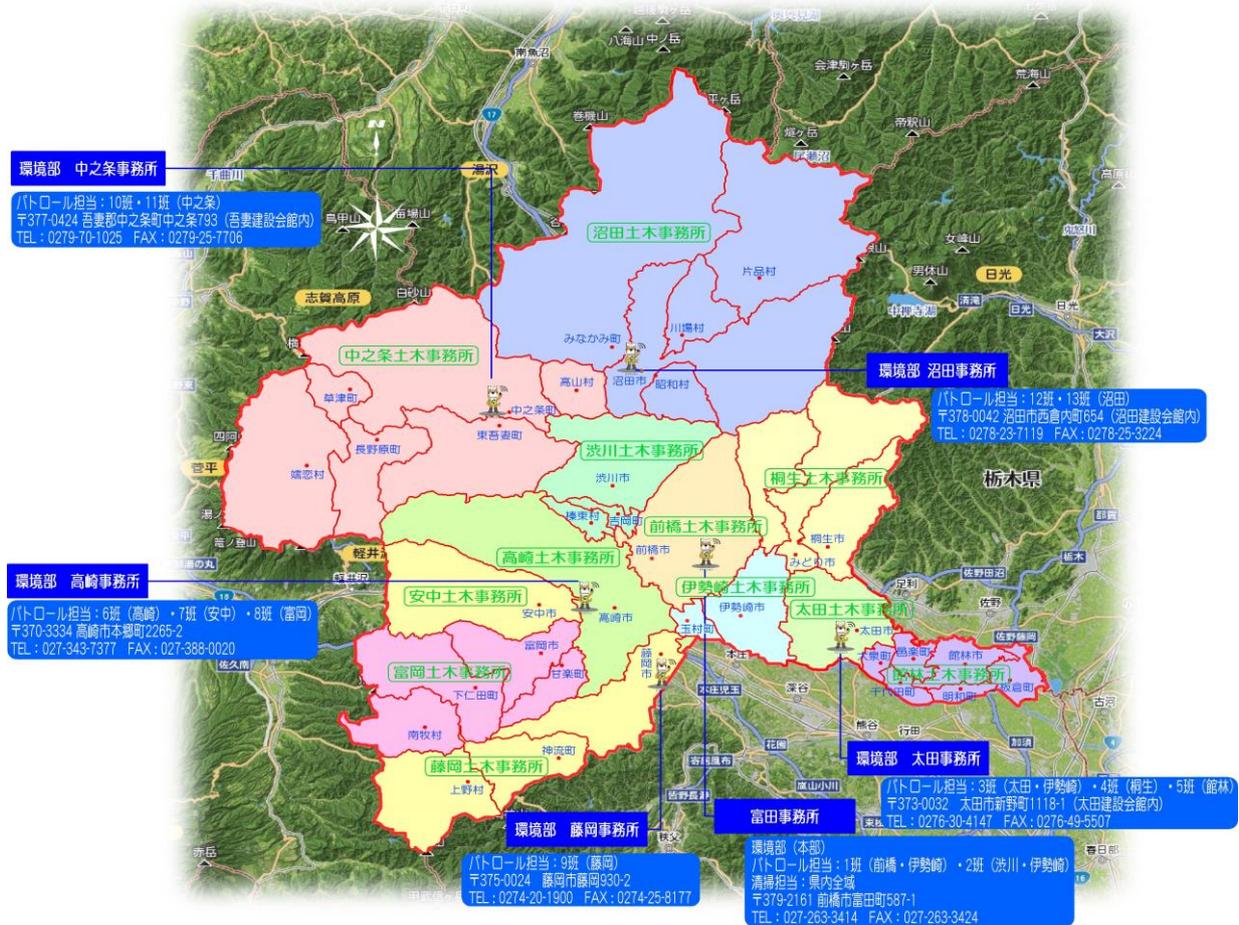
1 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

群馬県建設事業協同組合 理事長 青柳 剛

(2) 所在地

☎371-0846 前橋市元総社町二丁目5番地の3 (群馬建設会館)



(3) 事業の概要

群馬県管理道路の清掃業務・パトロール業務
 購買事業 (保険代理業)
 群馬建設会館管理運用業務

(4) 事業規模等

活動規模

	単位	2021年度 (50期)	2022年度 (51期)
受注高	百万円	585	626
職員数	人	65	65
述べ面積	事務所 m2	175.33	175.33
	倉庫 m2	811.46	811.46



計画の策定 (Plan)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

群馬県建設事業協同組合 全組織・全活動

(2) レポートの対象期間及び発行日

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の1年間の活動
2023年5月30日 発行

3. 環境経営方針

(1) 基本理念

群馬県より委託された道路の「補助パトロール事業」及び「道路清掃事業」を通して、道路環境の維持、美観の向上を図り、県民の生活環境の向上に寄与するとともに、地球環境に配慮した地球温暖化防止のため、以下の環境保全を継続的・積極的に取り組みます。

(2) 基本方針

環境保全活動を推進するにあたり、以下に示す主な活動項目を掲げて取り組みます。

- ① 環境関連法規、地域の条例、協定を遵守し、地域社会と共に推進します。
- ② 電気、ガス、化石燃料を効率的に使用し、CO2の削減に努めます。
- ③ 事務所の廃棄物削減・リサイクルに努めます。
- ④ 水使用量の削減に努めます。
- ⑤ 受託業務である道路清掃から出る、残土のリサイクル及び適正処理に努めます。
- ⑥ 環境方針を組合及び組合職員に周知し、積極的に取り組み、組合内外に公開します。

制定日 2011年 9月15日

改定日 2018年 2月 9日

群馬県建設事業協同組合

理事長 青柳 剛

計画の策定 (Plan)

4 環境経営目標

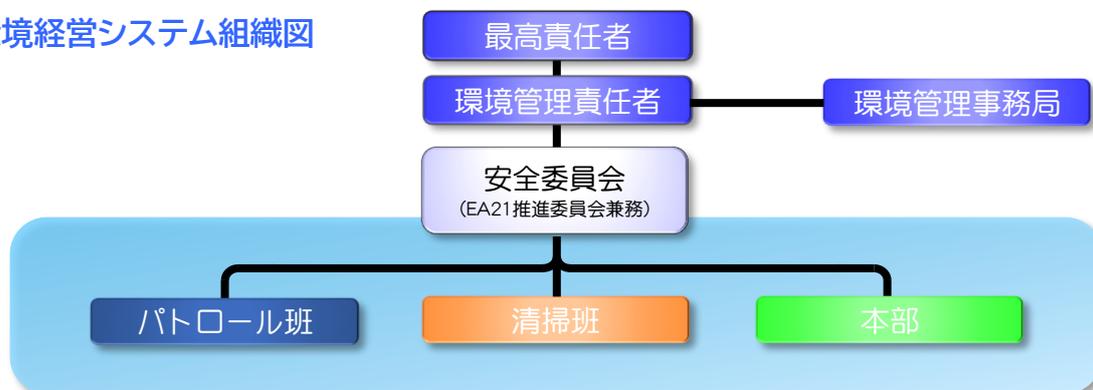
5 環境経営計画

No.	環境経営目標					今年度 (2022年度) の目標	環境経営目標を達成するための 具体的な手段	2022年度の日程												担当部署	責任者									
	項目	基準年 (実績)	1年後 (2023年度) の目標	2年後 (2024年度) の目標	3年後 (2025年度) の目標			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
1	購入電力による 二酸化炭素排出量 の削減 (kg-CO2/12ヶ月)	2017年度 (4月~3月) 12,835	基準年以下 12,835	基準年以下 12,835	基準年以下 12,835	基準年以下 12,835	①空調温度適正化・表示	→											全所	藤塚										
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	→															"	藤塚						
							③エアコン清掃の実施		→									→							"	神保				
							④湯沸かし器の温度調整・表示	→																			"	藤塚		
							⑤原因分析と削減方法の検討										→					→							"	平形
2	化石燃料 (ガソリン) による二酸化炭素 排出量の削減 (kg-CO2/12ヶ月)	2020年度 (4月~3月) 110,128	基準年以下 110,128	基準年以下 110,128	基準年以下 110,128	基準年以下 110,128	①エコドライブ推進	→										全所	神保											
							②車両の整備・点検	→															"	神保						
							③消費量の集計	→																	"	藤塚				
							④原因分析と削減方法の検討										→					→					"	平形		
3	廃棄物 (一般廃棄物)の 削減 (kg/12ヶ月)	2016年度 (4月~3月) 165	基準年以下 165	基準年以下 165	基準年以下 165	基準年以下 165	①分別ルールの徹底	→										全所	神保											
							②廃棄物置場の整備	→															"	神保						
							③廃棄物について、2022年度において分別を強化し、再資源化への取組を試行し、新たな環境経営目標を設定することとする。	→																	"	藤塚				
							④裏紙	→																			"	神保		
							⑤コピーの両面印刷の推進	→																					"	神保
							⑥原因分析と削減方法の検討													→		→								
4	水資源投入量 (水道料)の削減 (m3/12ヶ月)	2016年度 (4月~3月) 721	基準年以下 721	基準年以下 721	基準年以下 721	基準年以下 721	①毎月のメータを確認する (漏水防止)	→										全所	神保											
							②節水表示	→															"	藤塚						
							③洗車、洗濯時の節水	→																	"	神保				
							④トイレの節水	→																			"	神保		
							⑤原因分析と削減方法の検討													→		→							"	平形
5	本業に関する目標 (道路の穴埋めは小さいものでも全て行う) ※基準年(2016年度) に対し、穴埋め箇所数増 且つ1箇所当り合材使用 量減少	2016年度	基準年以上・以下	基準年以上・以下	基準年以上・以下	基準年以上・以下	①パトロール員研修等を通してパトロール員の意識改革			→			→				→	全所	神保											
			▼穴埋め箇所数 18,167箇所	▼穴埋め箇所数 18,167箇所	▼穴埋め箇所数 18,167箇所	▼穴埋め箇所数 18,167箇所	▼穴埋め箇所数 18,167箇所	▼穴埋め箇所数 18,167箇所	②実績確認とフィードバック												→	"	平形							
	▼1箇所当り 合材使用量 7.7kg/箇所	▼1箇所当り 合材使用量 7.7kg/箇所	▼1箇所当り 合材使用量 7.7kg/箇所	▼1箇所当り 合材使用量 7.7kg/箇所	▼1箇所当り 合材使用量 7.7kg/箇所	▼1箇所当り 合材使用量 7.7kg/箇所																								

計画の実施（Do）

6 環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制)

(1)環境経営システム組織図



(2)環境経営システム 役割責任及び権限

役職名	役割・責任・権限
最高責任者	理事長 青柳 剛 ① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 該当責任者には現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③ 環境方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する。
環境管理責任者	神保 尚紀 ① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するためのEA21推進委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。 ③ 環境目標・環境活動計画書・環境レポートの確認
環境管理事務局	武藤 昭治・平形 淳一・藤塚 理恵・田中 唯夫 ① 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ② 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ③ 環境目標・環境活動計画の原案作成、環境活動の実績集計 ④ 環境レポートの作成公開
EA21推進委員会	環境管理責任者・環境管理事務局・部門長 ① 環境経営システムの実施 ② 職員に対する環境方針の周知と教育訓練の実施 ③ 環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ④ 問題点の発見・是正・予防措置の実施
パトロール班・清掃班 本部(全職員)	① 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ② 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

取組状況の確認及び評価 (Check)

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

7 次年度の環境経営目標及び環境活動計画

No.	環境経営目標及び環境経営計画の実績			取組結果とその評価		次年度	
	項目	①今年度の目標値	②今年度の実績値	【結果】	評価	環境経営目標値	環境活動計画
1	購入電力による二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2/12ヶ月)	電力使用量 2017年度実績値以下 12,835	11,365	clear ▲ 1,470	一人一人が省エネ対策を実践したことから、目標を達成することができ。	過去5年実績平均以下 (2022年) 11,893	省エネ対策が実践され、目標値の達成が継続されてきたことから、目標値を変更する。新たな目標値を達成できるよう、引き続き省エネ対策を進めCO2排出量の削減に取り組む。
2	化石燃料 (ガソリン) による二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2/12ヶ月)	ガソリン 2020年度実績値以下 110,128	111,242	1,114	2022年度は、目標を達成することができなかった。その要因としては、道路清掃の事前調査を行うために道路巡視車を利用したことが考えられる。	2020年度実績値以下 110,128	目標達成に向け、エコドライブの推進を強化し、燃費の向上を図りCO2排出量の削減に取り組む。
3	廃棄物の削減及び再資源化の向上 (kg/12ヶ月) (%)	一般廃棄物	一般廃棄物について、焼却処分を実施していたが、2022年11月から焼却炉の使用を中止し、再資源化に有効な分別を実施するとともに有限会社太陽美装に収集運搬を委託し適正に処理する。 また、産業廃棄物については、業務実施に伴う廃棄物と道路パトロール等により収集した廃棄物を区分することにより、環境経営目標を設定する。			2022年度実績値以下・以上 ▼年間排出量(kg) 870 ▲再資源化率(%) 77.0	2022年度から取り組んでいる産業廃棄物の分別を強化し、排出量の削減と再資源化率の向上に取り組む。目標値については、2022年度の実績を踏まえて設定する。
	産業廃棄物	2022年度実績値以下・以上 ▼年間排出量(kg) 1,420 ▲再資源化率(%) 87.5					
4	水資源投入量の削減 (m3/12ヶ月)	水道量 2016年度実績値以下 721	520	clear ▲ 201	『節水手順書』に基づいた水道水の節約に取り組み、目標を達成することができた。	過去5年実績平均以下 (2022年) 650	節水対策が実践され、目標値の達成が継続されてきたことから、目標値を変更する。引き続き、『節水手順書』に基づき洗車、作業着の洗濯等での節水を図り新たな目標を達成できるよう水道水の削減に取り組む。
5	本業に関する目標 (道路の穴埋めは小さいものでも全て行う) ※基準年 (2016年度) に対し穴埋め箇所数増且つ1箇所当りの合材使用量減少	▲穴埋め箇所数 18,167箇所 ▼1箇所当り合材使用量 7.7kg/箇所	▲穴埋め箇所数 31,479箇所 ▼1箇所当り合材使用量 5.5kg/箇所	clear ▲穴埋め箇所数 +13,312箇所 ▼1箇所当り合材使用量 ▲ 2.2kg/箇所	目標を達成することができた。	▲穴埋め箇所数 31,586箇所 ▼1箇所当り合材使用量 5.6kg/箇所	日々の努力により、目標の達成が継続されてきたことから、目標を変更する。(過去5年実績平均以上・以下 (2022年)) 引き続き、「道路の穴埋めは小さいものでもすべて行う」を合言葉に日々のパトロールにあたる。

注1) 化学物質は使用していない。

注2) 電力購入は東京電力エナジーパートナー㈱、排出係数は0.000457 (t-co2/kWh : 2023.1.24環境省・経済産業省公表)

注3) 廃棄物については、道路上からの回収物は対象外とする。



取組状況の確認及び評価（Check）

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当組合に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守項目	遵守状況
自動車NOX・PM法	規制地域に出かける時は適合車であることを確認	遵法
浄化槽法	年1回以上の定期検査	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬許可の取得	遵法
	処理委託契約の締結	遵法
	マニフェスト管理	遵法
	マニフェスト交付状況等報告書の提出	遵法
自動車リサイクル法	リサイクル料金の適正支払い	遵法
オフロード法	資格者による年1回の点検	遵法
群馬県土砂等による埋め立て等の規制に関する条例	土壌基準に適合する土砂の埋め立て	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検記録の作成保存	遵法

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ① 2022年4月15日の環境関連法規遵守の確認において、環境関連法規への違反はありません。
- ② 関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。



全体の評価と見直し（Act）

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022年度 エコアクション21運用状況報告会(2023年4月12日)を受けて

○全体の評価の概要

- ・ CO₂排出量は、昨年に比べ約1割増加した。
この主な要因としては、路面清掃業務量の増加に伴い、軽油使用量が増加したことが考えられる。
- ・ 環境経営目標5項目の内、化石燃料（ガソリン）については、道路清掃業務が増加し道路巡視車を事前調査や現場移動手段に利用したことにより目標を達成できなかった。
なお、廃棄物については、分別方法の変更等により2022年度は評価対象外とした。

○見直し・指示事項

- ・ CO₂排出量は、道路清掃業務量により大きく変動するが、省エネ対策やエコドライブ等の発生源対策を引続き実施し、CO₂排出量の削減に努める。
- ・ 産業廃棄物については、2022年11月から分別方法及び処理方法を変更するとともに、排出量の削減と再資源化率の向上を目標設定する。
- ・ 環境経営目標値については、化石燃料（ガソリン）を除き、近年の達成状況を踏まえた新たな目標値を設定し、エコ活動に取り組む。